

今回のインタビューは、海田町出身でNHK広島放送局気象キャスターの勝丸恭子さんをお願いしました。

聞き手／多田 雄一 委員



明るい気持ちで一日のスタートを

NHK広島放送局気象キャスター

かつまる きょうこ
勝丸 恭子さん

NHKの朝と昼のお天気キャスターとして活躍ですが、なぜ気象予報士になろうと思ったのですか。

昔 から時間を忘れて空を見上げたり、「季節の変わり目の空気を感じたリするのが好きでした。はじめは趣味として勉強を始め、その成果として資格がとればと思っていました

が、学ぶほどに奥が深く、熱中していきました。

多くの方の生活に密着して、時には命にもかかわるのが気象。責任重大ですがやりがいがありますし、なにより、自分を育ててくれた土地の方々にお伝えできるのが嬉しいです。

最近では異常気象も多くて予報が難しいことも多いかと思いますが、放送に当たって日頃心がけていらっしゃることはありますか。

役 立つ情報を、分かりやすく、ポイントを絞ってお伝えすることです。放送時間が限られているので、どんな画面でどのように話そう

か頭をひねっています。

服装にも気を配ります。雨の日や週明けは明るめの色を選んだり、その日の予想気温に合わせて、なるべく皆さんの服装の目安になるよう意識しています。

あとは、明るい気持ちで一日のスタートが切れるような笑顔！

そして、いざという時に信頼してもらえようように日々を積み重ねたいと思っています。

子どもたちはゲームやインターネットなどで、外で遊ぶことがなくなっていると思います。海田町の子もたちに故郷の自然について興味を持ってもらいたいと考えていますが、何か伝えたいことがありますか。

幼 い頃はあって当たり前前と違っていた海田の景色が、今ほとても贅沢なものに感じられます。山も川もあって海も近い。大自然の中に出かけていなくても、身の回りに少し目を向けてみると、あちこちで季節の移り変わりを感じることが出来ます。

その贅沢な環境を存分に楽しんでほしいです。大人

になったらきっと、海田の景色をいつまでも大切にしたいと感じると思います。ちなみに私のイチオシの景色は五月ころ。新緑眩しい日浦山と、青空との境目がとってもキレイです。

お忙しいところ本当にありがとうございました。

